

# 会 議 録

会議の名称	第1回小金井市下水道使用料審議会	
事務局	環境部下水道課業務設備係	
開催日時	平成28年11月22日(火)	
開催場所	本庁舎3階第一会議室	
出席者	委員	浦谷 規、楠元 克成、南 恵子、齋藤 徹子、多田 典子、野崎 玲子
	理事者	市長 西岡 真一郎
	事務局	環境部長 柿崎 健一、下水道課長 林 文男、主任 内藤 暁雄
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 一部不可 ・ 不可	
傍聴者数	1人	
傍聴不可等の理由等		
会議次第	別紙のとおり	
会議結果	別紙「審議経過」のとおり	
提出資料	第1回審議会資料	
その他	なし	

1. 委員の委嘱について  
小金井市下水道使用料審議会委員の委嘱について、西岡市長から委員7名に委嘱状の交付を行う。
2. 市長からの挨拶  
市長が挨拶を行う。
3. 自己紹介  
委員6名の自己紹介後、事務局3名の自己紹介を行う。  
(委託業務請負業者「日本水工設計株式会社」の鈴木淳、武井弘、高野伸彦の3名同席)
4. 会長の選出  
小金井市下水道使用料審議会の会長を委員推薦により選出する。  
会長：浦谷 規
5. 副会長の選出  
小金井市下水道使用料審議会の副会長を委員推薦により選出する。  
副会長：楠元 克成
6. 小金井市下水道使用料審議会への諮問について  
西岡市長から小金井市下水道使用料審議会へ諮問する。
7. 小金井市下水道事業の現状について  
事務局より、第1回審議会資料を用い、小金井市下水道事業の現状について説明を行う。質疑応答における内容は下記の通り。  
  
(楠元副会長)  
平成27年度末における未償還残高が16億円とされているが、これは利子も含むのか。  
(事務局)  
利子は含まない。元金のみである。  
(野崎委員)  
道路陥没の状況写真は小金井市のものか。  
(事務局)  
写真は「下水道維持管理指針-2014年版-日本下水道協会からの引用であり、小金井市の道路陥没の写真は無い。  
(齋藤委員)  
市内で、道路が一段低くなっているところで水が溢れていた事があったが、あれは下水の溢水なのか。  
(事務局)  
雨天時には水位が上昇してマンホールから溢水することもあるが、晴天時であれば通常溢水は発生しないので、水道管の漏水の可能性はある。  
(多田委員)  
市内の分流式下水道は、野川周辺だけなのか。  
(事務局)  
市内で分流式下水道を採用している区域は野川周辺及び、五日市街道北側の地区である。  
(浦谷会長)  
全国的に分流式と合流式の比率はどの程度なのか。東京都ではどちらが多いのか。

(事務局)

比率は分からないが、古くから下水道に着手している大都市では合流式下水道を採用している都市が多い。

(楠元副会長)

標準的耐用年数は50年とされているが、実際にはどのくらいもつのか。

(事務局)

使用されている状況によってさまざまである。小金井市では「一律50年経過したら更新」とはせず、老朽化対策を実施する箇所は、TVカメラなどにより劣化状況を把握し、実施していく方針である。

(浦谷会長)

合流式を採用しているが、浸透櫛の効果により、雨水は下水道管に流入しないのではないかと。

(事務局)

雨水浸透櫛の効果は20mm/hrなので、近年多いゲリラ豪雨などは浸透しきれず下水道管に流入する。

(浦谷会長)

市の下水道料金体系はどのようになっているのか。雨水の負担分は、財源はどのようになっているのか。

(事務局)

審議会資料に添付していなかったため、次回資料にて示す。

(楠元副会長)

資料を当日渡されても内容を読み込めないため、事前に送付していただきたい。

(事務局)

今後は、事前に資料を送付する。

## 8. その他

(事務局)

審議会の会議録は小金井市市民参加条例施行規則7条に基づき、情報公開コーナー、議会図書館、図書館本館に据え置くこと及びホームページで公開にすることにより、市民に公開している。当審議会も他の審議会同様の対応とする。また、公開方法は会議内容の要点記録とする。

次回審議会は平成28年12月19日(月)午後3時から行う予定。

\*各議題の会議録・資料については、図書館本館、議会図書館(小金井市役所本庁舎4階)、情報公開コーナー(小金井市役所第二庁舎6階)にて閲覧できます。